

# AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2012.09) 平成21年度:18.

看護師を対象とした経皮フェンタニル製剤(製剤見本)の使用感に関する  
比較試験  
—リザーバーシステム製剤vs.マトリックスシステム製剤—

笹田豊枝、阿部泰之、小城香緒里、間宮敬子

# 看護師を対象とした経皮フェンタニル製剤（製剤見本）の使用感に関する比較試験 ーリザーバーシステム 製剤 vs. マトリックスシステム製剤ー

○笹田 豊枝<sup>1,2,3</sup>、阿部 泰之<sup>2,3,4</sup>、小城香緒里<sup>2,6</sup>、間宮 敬子<sup>2,5</sup>  
(<sup>1</sup>旭川医科大学病院 看護部、<sup>2</sup>旭川医科大学病院 緩和ケアチーム、  
<sup>3</sup>旭川医科大学病院 緩和ケア診療室、<sup>4</sup>旭川医科大学 精神医学講座、  
<sup>5</sup>旭川医科大学 麻酔科・蘇生科、<sup>6</sup>旭川医科大学病院 薬剤部)

## 【目的】

がん性疼痛治療において経皮フェンタニル製剤は頻用されており、鎮痛効果と投与の簡便さは十分評価を得ている。わが国でも従来のリザーバーシステム製剤（以下 DP）から切り換わる形で、マトリックスシステム製剤（以下 MT）が使用可能となっており、切り換え試験では同等の有効性と安全性が確認されている。しかし貼付剤であるかぎり、薬剤選択やケアにおいて“使用感”も重要な因子であるが、使用感に関して両者を十分に比較した試験は少ない。DP と MT の 2 剤（製剤見本）について使用感の違いを比較し薬剤選択やケアへの示唆を得る。

## 【方法】

対象は B 病院の看護師 30 名。倫理的配慮は、個人が特定されない事等を書面で説明し結果は学会等で発表する同意を得た。MT と DP の製剤見本を各 1 枚ずつ添付文書に従った貼付法で左右大腿前面に 72 時間貼付。2 剤の使用感に関して独自に作成したアンケートを施行し結果を F 検定で分析した。

## 【結果】

回収率 87%。動き易さ、貼り心地に関して有意差をもって、MT の満足度が高かった。自由回答では、MT は搔痒感や違和感が少ないという記載が多かった。

## 【考察】

動き易さ、貼り心地に関して MT の満足度が高かった要因として、薄くやわらかい点が挙げられる。貼付剤の選択にあたっては、その使用感も重要な因子である。この試験の副産物として、看護師が自分の体に貼付して初めて気づいたことも多く、今後のケアに生かされるものと考えられる。